令和4年度東淀川区区政会議第2回教育・健康・福祉部会 会議録

1 日時 令和5年2月21日（火）午後7時から午後9時

2 場所 東淀川区役所3階 区民ホール（WEB併用）

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 教育・健康・福祉部会委員）

東田 卓也議長、奥田 博美副議長、川崎 敦弘委員（WEB）、窪田 学委員、高月 正人委員、床田 淳子委員、橋本 陽子委員、松井 千奈江委員、松川 龍夫委員、松下 澄江委員、松田 淳子委員、山内 泰典委員（WEB）、山本 聖也委員

（東淀川区区政会議 安全・安心・まちづくり部会委員）

植原 孝廣委員、宇田 聖司委員、藤野 進委員

（東淀川区選出市会議員）

石川 博紀議員、橋本 まさと議員

（大阪府議会議員）

笹川 理議員（WEB）

（東淀川区役所）

原保健福祉課長、井阪地域包括ケア推進担当保健主幹、黒田保健福祉課長代理、福田保健福祉課地域福祉相談担当課長代理、安田保健福祉課保健担当課長代理、青木保健副主幹、大谷子育て企画担当課長兼教育委員会事務局総務部東淀川区教育担当課長、辻井保健福祉課子育て企画担当課長代理、宇野保健福祉課教育担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課東淀川区教育担当課長代理、上井保健福祉課担当係長

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）令和5年度東淀川区運営方針（案）について

（2）令和5年度東淀川区関連予算（案）について

（3）その他

5 議事内容（発言者名及び個々の発言内容）

○上井係長 皆様、こんばんは。それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和4年度東淀川区区政会議第2回教育・健康・福祉部会を開催いたします。

皆様におかれましては、お忙しい中、また夜間にもかかわらずご出席を賜りまして誠にあり

がとうございます。

本日の進行を務めさせていただきます東淀川区役所保健福祉課の上井です。よろしくお願いいたします。

本日はオンライン会議も併用して開催いたします。ウェブで参加の皆様、聞こえていますでしょうか。ありがとうございます。

ここでオンラインで参加されている皆様にお願ひがあります。カメラは常にオンにさせていただき、マイク機能はご自身が発言される時以外にはオフにさせていただきますよう、ご協力を願ひいたします。

また、区民ホールにおられる方にも願ひがあります。発言される際は、ワイヤレスマイクと、あとウェブマイク、こちらのマイクです、こちらに青いランプがともった状態で一緒に持ってお話しいただきますよう願ひいたします。

大阪市では、分権型教育行政を進めていくため、教育関係施策等について保護者及び地域の皆様からのご意見をお伺いするための会議を組織することとしておりますが、東淀川区におきましては本部会がその趣旨に該当しますことから、本部会を教育会議を兼ねての開催と位置づけております。教育・健康・福祉部会の委員の方には教育会議の委員を兼ねていただくこととなりますので、ご了承ください。

本日の部会は21時までの予定としておりますので、ご理解、ご協力を願ひいたします。

それでは、初めに保健福祉課長の原よりご挨拶申し上げます。

○原課長 皆様、こんばんは。東淀川区役所保健福祉課の原と申します。

本日は、お忙しいところ、またお仕事等でお疲れのところ、また非常に何か雪もちらついて寒い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、令和5年度東淀川区関連予算（案）と、12月の学習会でのご意見を踏まえて作成いたしました令和5年度東淀川区運営方針（案）について、ご意見をお伺いさせていただきます。ワークショップ形式で発言いただきますので、どうぞ忌憚のないご意見を願ひいたします。

また、本日はオンラインでの参加もいただいております。ウェブ操作が不慣れなため行き届かない点もあるかと思いますが、何とぞご容赦ください。

1つ資料についてここで説明させていただきます。机の上に配付しております東淀川区運営方針 経営課題2・経営課題3 用語解説・事業説明（第2版）、色つきのみりのりちゃんのマークがついている緑色の用語集なのですが、そちらをご覧ください。

以前に配付しておりました用語解説・事業説明に幾つかのワードを今回追加いたしました。表紙下部に記載のとおり、経営課題ごとに用語・事業の五十音順に記載をしております。また、今回追加した言葉には米印を左のほうにつけております。

それでは、限られた時間ですが、有意義な時間となりますようよろしくお願いいたします。

○上井係長 では、ここで本日ご出席及びウェブで参加の市会議員、府議会議員のご紹介をさせていただきます。

市会議員の石川議員、橋本議員です。

○石川議員 こんにちは。よろしくお願いします。

○橋本議員 こんにちは。よろしくお願いいたします。

○上井係長 府議会議員の笹川議員です。

○笹川議員 いつもありがとうございます。本日もよろしくお願いいたします。

○上井係長 ありがとうございます。よろしくお願いします。

引き続きまして、ウェブで参加されている委員の確認をいたします。

山内委員、聞こえていますでしょうか。

○山内委員 はい、聞こえております。

○上井係長 ありがとうございます。

確認が取れましたので、ちょっと失礼します。すみません。

大変失礼しました。本日の会議は、本会場にて11名、またウェブ会議システムにより1名、合わせて12名にご出席いただいております。出席者数が委員定数23名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。

本日の議事録につきましては、発言者の氏名とその発言内容を記載した議事録により後日公表させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

続きまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、机の上に置いています資料ですけれども、1点目が議事次第、それから2点目が配席図、3点目が、緑色の紙になりますが、東淀川区運営方針 経営課題2・経営課題3 用語解説・事業説明、それから4点目が黄色い紙で生活困窮者を支える地域づくり、以上4点の資料はありますでしょうか。

また加えて、教育・健康・福祉部会の委員の方には、東淀川区内における教育行政に関するアンケートも配付しております。このアンケートはお帰りの際に回収させていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

あと、資料の郵送をご希望の委員の皆様宛てに先日お送りしました資料は本日お持ちいただいておりますでしょうか。もしお持ちじゃなければお渡ししますので、お知らせください。

皆さん、お持ちですか。大丈夫ですか。

ありがとうございます。

それでは、ここからは東田議長に進行をお願いいたします。

よろしくお願いします。

○東田議長 皆さん、こんにちは。東田です。よろしくお願いいたします。

着座にて失礼いたします。

初めに本日の会議の流れについて簡単にご説明いたします。

まず、次第にあります議題（１）令和５年度東淀川区運営方針（案）、（２）令和５年度東淀川区関連予算（案）について、区役所から説明していただきます。

説明が終わりましたら全体を通して委員の皆様からご意見いただきたいと存じますので、よろしくをお願いします。

内容につきましてより活発にご議論いただくために、区役所からの説明後は一旦部会を休会にさせていただきます。いつものとおり２グループに分かれてのワークショップということで意見交換していただきます。

また、部会再開後に各グループで出たご意見のほう発表していただきますので、区役所から対応方針等を説明していただくという流れで進めてまいりたいと思います。

なお、本日会議の内容に関しましては、３月13日の区政会議の本会のほうで、部会を代表しまして私のほうから報告をする予定になっておりますので、ご承知おきください。

それでは区役所から説明をお願いいたします。

○大谷課長 いつもお世話になっております。子育て企画担当課長の大谷でございます。

それでは、私のほうからまず、区の運営方針につきましては、経営課題２に関連する部分をご説明のほうさせていただきますかと思っております。

失礼して、座らせていただきます。

今回、運営方針の説明につきましては、12月にお示しさせていただきましたたたき台からの変更点を中心に、ご説明のほうさせていただきます。

まず、経営課題２－１、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を受けることができ、東淀川区版ネウボラの体制が充実しているまち、こちらのほうの説明から入ってまいりたいと思っております。

まず、前回のたたき台から変更している１点目ですけれども、こちら左側のほうにございます主な戦略の頭のところですけれども、前回の資料の中では「サービスが必要な子どもや養育者に対して」というような表現をしておったんですけれども、こちらにつきましては、委員の方のほうから、サービスという言葉よりも支援という言葉のほうが適切ではないかというご意見をいただきまして、誠に的確なご意見かと思われましたので、こちらのほうにつきましては、「支援が必要な子どもや養育者に対して、きめ細かいフォロー体制を整備し」というような形で修正のほうを加えさせていただいております。

それから、その下ですけれども、アウトカム指標というところで、前回までは、こちら令和８年度末までに100%というような目標値までの記載でしたけれども、ほかの項目もそうなんですけれども、これまでの実績という部分を追記のほうさせていただきます。

ただ、こちらの経営課題2-1につきましては、令和2年度から新たに設定しています指標ですので、こちらのほう、ちょっとまだ実績としてデータが取れていないということで、それぞれ令和3年度の実績については、横バー、データなしという形にさせていただいております。

それから、右側のほうへいきまして具体的取組のところですが、まず一番上のところ、助産師による専門的相談事業のところですが、こちらのほうに、1行目のところに書いております、「母子健康手帳交付時に全員に面接し、担当保健師や母子保健事業について情報提供する」という取組のほうを1つ追加させていただいております。こちらのほうは、先ほどご紹介させていただきましたアウトカム指標の2つ目、すべてのこどもが必要な健診を受けることができ、母子保健事業が活用できる情報を受け取ることができた割合、こちらのほうを高めていくために必要な取組ということですので、その部分、整合性を取るために1つ追記のほうさせていただいております。

それからその2行下ですけれども、専門的家庭訪問支援事業、前回のときには3か月健康診査までというふうなところで表現させていただいていたんですけれども、スタート期を明確にするという意味で「妊娠期から」という文言のほう追記させていただいております。

それからその2つ下の丸のところ、ICTを活用した子育て支援の部分ですけれども、こちらのほう、前は非常にシンプルにAIモデルベビーを活用した児童虐待防止を図るというような表現をしていたんですけれども、こちらのほうも委員の方のほうから分かりにくいというようなご指摘のほう複数いただいておりますので、事業の対象であったり手法であったりというようなところを具体的に表現させていただいております。生まれてくる子の両親や祖父母等を対象にして、とりわけ育児の際にストレスを感じやすいこどもが泣くということに対する理解を深めるために、AIモデルベビーを活用した参加型の講座のほうを実施させていただいて、児童虐待の防止を図るというような表現に変更させていただいております。

続きまして、次のページへいっていただいて、経営課題2-2のほうですけれども、こどもと子育て家庭が、地域の人々と交流し社会全体で支える総合支援体制が構築されているまちという項目のほうですけれども、こちらのほうでまず追記しましたのが、先ほどと同じくアウトカム指標の部分です。左下の部分になりますけれども。こちらで、支援を必要とするこどもたちや子育て家庭を適切な関係機関につなげられた割合、こちらの令和3年度の実績のほうを83%という部分を追記させていただいております。

それから、右側へいきまして具体的取組のところの上から4行目のところですが、こどもサポートネットにおいて、スクリーニング会議で課題を抱えたこどもたち、子育て世帯を把握して、その分を学校と共有、連携しながら支援が必要な関係機関につなげるというようなところ、こちら前回のたたき台のときにはもう少し簡略された表現だったんですけれども、こちらのほうも少し詳しく分かりやすく表現のほうを変えさせていただいております。

続きまして、経営課題2-3の部分ですけれども、こどもが自立して「生きる力」を身に付けるために取り組むまちという部分ですけれども、こちらのほうもアウトカム指標のところを令和3年度の実績のほうを追記させていただいております。区民アンケートで「すべてのこどもが『生きる力』をはぐくむための教育環境が整っていると感じる」と回答する人の割合を令和8年度末までに50%にしていくというところですが、ここの部分、令和3年度の実績として25.1%の部分を追記させていただいております。

それから右側の具体的取組ですが、こちらのほうは上から2つ目の丸、民間事業者を活用した課外学習事業の部分ですけれども、こちらのところ、小・中学生の、前は「学力の向上」というような形で表現させていただいていたところですが、こちらのほうも「基礎学力の向上」ということで、学力の底上げという事業の趣旨が明確になるように追記のほうさせていただいております。

区の運営方針、経営課題2に関わっての修正、変更点につきましては以上でございます。

続きまして、区関連予算のほうですけれども、こちらのほうも経営課題2に関わる事業につきまして簡単に説明のほうさせていただきたいかと思っております。

経営課題2に関わる部分としましては、資料2の、通し番号が振ってあるかと思っておりますけれども通し番号の12番から16番及び18番、19番が経営課題2に関わる事業なんですけれども、ほぼ運営方針の中で触れられている事業がほとんどなんですけれども、唯一この中でいきますと、14番、乳幼児発達相談体制の強化事業、こちらのほうが運営方針では特に触れられておりませんでしたので、こちらのほう簡単にご説明のほうさせていただきたいかと思っております。

この事業につきましては、発達障がいのあるこどもたちと養育者たちのための事業ということで、安心して育児ができるように臨床心理士等の専門職を長期・安定的に確保して、早期の段階から継続的な相談支援を行う事業になっておりまして、速やかに診断や医療につなげる相談を受けることができることで、早期の療育や適切な保育・教育につなげることを目的とする事業となっております。

私からの説明は以上です。

○原課長 では続きまして、東淀川区役所保健福祉課の原です。私のほうから経営課題3について説明をさせていただきます。

まず、送付資料の1の令和5年度運営方針（案）と送付資料3、学習会での意見と回答をお手元にご準備いただけますでしょうか。

昨年末に運営方針たたき台を作成しましたが、12月の学習会でいただいた意見に基づき変更した点や、区役所担当にて改めて検討して変更した点を中心に説明させていただきます。

まず、全体を通してですが、先ほど大谷の説明からもありましたが、アウトカム指標のところを令和3年度の実績を記載しております。

では、運営方針の3-1をご覧ください。住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けることのできるまちというところです。そこのアウトカム指標を見ていただきますと令和3年度の実績を記載しております。

次に、経営課題3-2をご覧ください。「地域力」を活かした安心・安全な支え合いのまちということで、具体的取組のチョコボの2つ目をご覧ください。「地域別保健福祉計画の新規策定及び更新について東淀川区社会福祉協議会とともに支援すると共に、地域別保健福祉計画・個別避難計画策定推進サポーターを配置し」とありますが、たたき台では「地域別保健福祉計画・個別避難計画策定推進アドバイザー」、サポーターがアドバイザーとなっていました。変更した理由のほうを説明します。地域別保健福祉計画や個別避難計画は地域住民主体で策定し、そのことが災害時にも生かせる見守りネットワークの構築や地域の課題を地域で解決する地域力の構築に寄与すると考えております。サポーターは、そのような地域と区役所や関係機関をつなぐ役割を担い各計画の策定を推進する立場です。そのような役割から、アドバイザーではなくサポーターというふうに名称を変更しています。今私が説明したことは意見と回答の通し番号14のほうに記載しておりますので、またご確認ください。

次に、意見と回答の通し番号17をご覧ください。17のほうで、具体的取組において、昨年度に比べて検診受診推奨（乳幼児健診対象の保護者への啓発）がカットされているが必要ではないのかというふうなご意見を受けまして、その横の回答をご覧ください。今年度追加した取組を踏まえて「検診実施医療機関でのポスター掲示など、特定健診・がん検診の受診勧奨」に文言を変更いたしました。これまで同様に、乳幼児健診時はもちろん様々な年代の方にあらゆる機会を活用して受診勧奨に努めてまいります。今回のご意見を受け「検診実施医療機関でのポスター掲示や、乳幼児健診時の保護者への啓発など、特定健診・がん検診の受診勧奨」に取組内容の文言を修正いたしますというふうに示しております。

運営方針、経営課題の3-4をご覧ください。その具体的取組、いつまでもいきいきと自分らしく過ごすための健康寿命延伸への取組の1つ目のチョコボに、今申し上げたことを反映しております。

次に、予算の説明をします。

送付資料2、令和5年度東淀川区関連予算（案）をご覧ください。

重点的に取り組む事業としては2つあります。

1つ目は、通し番号17番のひがよどなごみ勉強会事業です。学習の差が開いてくる小学校高学年を対象とすることで、学習意欲の低下、不登校といった状況に陥る前にマンツーマンでの学習支援をすることが貧困の連鎖を防ぐためには有用であることから、対象を拡大し小学校5年生、6年生を新たに受け入れることとし、事業内容の拡充を行います。

重点の事業の2つ目は、通し番号21の新規事業の地域別保健福祉計画・個別避難計画策定推

進サポーターです。説明のほうは割愛させていただきます。

また、重点事業ではないですが、通し番号20の地域福祉コーディネーター業務委託事業は、事業内容の拡充を行いました。内容としては、地域福祉コーディネーターの出勤日の増加に対応するための人件費の増加と、地域福祉コーディネーターが活動する地域の会館の使用料について増額しました。

私からの説明は以上です。

○東田議長 ありがとうございます。

では、皆様から、議題（1）令和5年度東淀川区運営方針（案）、議題（2）令和5年度東淀川区関連予算（案）についてご意見いただきたいと存じますが、内容についてより活発に議論をいただくために、一旦部会のほう休会にさせていただきます。2グループに分かれてワークショップによる意見交換をしていただきたいと思っております。

話し合っていたきたいテーマは2つです。経営課題2. こども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち、経営課題3. 福祉と健康にみんなで取り組むまちです。

事前に事務局から送られた部会ワークショップシートのほうを記載していただきたいと思しますので、この内容を基に意見交換を行っていただきます。各グループに区役所の職員の方も入っていただきまして、サポートや記録をしていただくこととなります。各グループで、ワークショップでのご意見ややり取りをまとめていただきまして、部会再開後、発表していただきます。

なお、ウェブで参加されている方につきましては、ワークショップとして意見交換が困難なため、各グループの発表後にお時間をいただきたいと思しますので、ご了承ください。

では、部会のほうは一時休会とさせていただきます。この後、非公開でのワークショップのほう開始させていただきます。再開は20時頃を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

○東田議長 はい、それでは皆様少々時間おしておりますので、部会の方、再開をして参りたいと思えます。各グループで出ました意見につきましてはリーダーの方まとめて発表していただきたいなと思っております。会議録を作成いたしますのでまず、名乗っていただいた上でご発言いただきますようお願いいたします。では、まずAグループさんの方から5分程度で、できるだけ多くのご意見のほうご紹介をお願いいたします。

○山本委員 Aグループの報告をさせていただきます。

先に経営課題3のほう、こちらの面にあるので、話していた内容なんですけども。

初めはちょっと広報紙の配付だったりとか、個別の避難計画とかっていう部分の内容がですね、ちょっとテーマとはちょっと今回のものは違うといいながらも、デジタルの配付でされて

いるだとか、しっかり地域でLINEアプリ使って配付されてるような情報などもあって、何かこうアナログだけでは部数が足りない現状をデジタルで補えたらなんていう面もあれば、デジタルに入りすぎると、ちょっとそれになかなかついていけないとか、そういう環境が伴っていない方々にはアナログがいるかなというような、様々な両方大事な意見とかも上がってたのは、個人的にすごい面白いなと思っておりました。

その他のところで、大きく出てきていたのは福祉計画作成っていうところの部分ですね、実際にどこまで推進が進んでいるかっていうところで、推進している認識と現場に実際おりてきている認識が少し差があったのかなっていうご意見があった中で、そこはしっかりと連携で一声かけていく、こんな意見入れてくれましたか、連絡は届きましたかという一声が、繋ぎあっていくことでしっかり意見がおりて、よりよい計画策定や、意見の交換になるんじゃないかなっていうのが上がっておりました。そういった福祉計画の作成とかっていう、大きなところの部分がしっかりと進むことで全体の課題の解決にも繋がるんじゃないかというような意見が出ているところで、終了したような内容になっています。

経営課題2のほうは、前半はすごいいい取り組みがありますっていうな明るい意見が多かったなと思っていました。4歳児訪問事業っていうのがすごい取り組みとしていいというところと、しっかり全員に入っているかの確認も取れていたり、母子健康手帳の交付の際の面接などの取組みなどの、しっかりとまずは取組みが今すごいいいですねっていうところの明るい発信というところで意見がまとまったのがすごいよかったなと思う。あとはAIモデルベビーの関心をどんどん増やしていくためにも、情報発信して広げていけばっていう内容が前半ありました。

あとは、はぐくみネット事業と課外学習事業、家庭学習事業のところの部分ですね。経過課題2-2のところ、戦略のところ、上がっている中で、地域や企業、社会総がかりで取り組むってところがある中で、その具体的な取り組み内容、ちょっと現状企業さんがどういったことをやる必要があるのかという内容がちょっと記載が少ないという意見もあったんですけども、そのあたりは実際今回の記載にはなかったんですけども、実際にちょっとどういった内容、職業体験ってというような例もいただきながらですね、実際にどんな企業にちょっと力を借りるかっていうところの活動は水面下で動いているってというようなところの内容もお聞きすることができました。

で、2-1の方であげていた支援というところの言葉が出ていたんですけども、その基準自体はどうなっているのかっていう意見に対して、明確に決まっているものはないですが学校ごとがしっかりと判断して取り組んでいるというところで、支援が進んでいるものの少しずつ学校ごとによっては差があったりするのではないかと、というところの回答などをいただいております。

こちらの方は以上になります。

○東田議長 はい、ありがとうございました。

それでは続きましてBグループの報告になります。よろしくお願いいたします。

経営課題2からの報告になりますが、こどもさん関係で子育てサロンの参加者が少ないのはっていうようなご意見もいただいています。あと、2-1の方にありました子育てサロンの出前講座のことも具体的にはってことだったんですが、やはりコロナの影響もあってことでお聞きしました。今後PRのところに向けては今活動されているってことです。

あと、乳幼児の発達相談体制はっていうことで質問的なところがありまして、0歳児からの受け付けはないのかということで、別で0歳児からの取り組みをされているということでご説明もいただいています。詳細は訪問の回数とか、割と頻度を多く行かれていますってようなこともお話されてました。

ちょっと言葉のところは、少しここは割愛させていただきます。

あと保育所の待機児童の数は、一般的な待機児童の数というところと、ちょっと行政的な認識というかね、言葉の使い方が少し違うっていうようなご説明もあつたんですけど、基本空き定員があつて、それなりの行ける距離のところでは希望者の方があれば、待機者はいないっていう、待機児童がないってような基本認識になるんですけども、未入所児童さんのほうの課題のほうは大事やということで区役所のほうはとらえてられます。

あとのお声としては、安心して子育てができるまちづくりに繋がる助産師さんの家庭訪問とでもうれしかったですっていうようなご意見も皆様からいただいております。

あとそうですね、青指関係福祉関係、生涯学習もそうですが、地域の中での活動される方の人材不足って課題がやっぱり地域の中でもありますよってことでご意見ありました。

あと学力向上の部分ですが、底上げだけじゃなくて、引き上げもしっかり伸ばしてあげたらどうだつていうようなご意見もいただいています。

あと、いきいきの相談員さんで年々宿題見ると、ちょっとなかなか勉強苦手なお子さんが増えてきたように感じますっていうようなところもあるので、基礎学力の向上については低学年からしっかり伸ばせてあげないかなってところのご意見もありました。

大体2番目のところはそんな感じですかね。

続きまして、経営課題3のほうになります。

地域福祉コーディネーターさんのご意見皆さん多くありまして、まだまだ地域の中で地域福祉コーディネーターさんが配置されたところで、認知度とかはどうですかってようなところで、今後の活動に期待したいですってようなご意見もいただいました。あと予算拡充されています。そこにも関連するところで、今、週2日地域の中で地域福祉コーディネーターさん活動をされてはるんですけども、実際週3日とかになるわけではなくて、今、活動の中で

種々の会議等に参加され、ご出席されるっていう機会も増えてきてるので、そこにつけてる予算ですっていうことになってるようです。なので、地域の中で、多分必要に応じて予算のところは使われていくっていうな形で、地域に応じた状況になっていくのかなっていうふうなご意見とか、区役所のほうから説明もありました。

あと、地域別の保健福祉計画もどの程度広まっていますかっていうことで、地域の差が大きいように思っていますってことで、今後の作成にあたってしっかり取り組んで欲しいというようなご意見もあります。

あとはそうですね、地域の繋がりの中でということで、町会の活動であるとか、いろいろ行事もされていますので、まず挨拶することから繋がっていったらっていうようなところもありますして、実際地域の中で孤立死の問題もやっぱりあったようなので、そういったところを防ぐようなところの、繋いでいけないかなというようなご意見も出てました。

地域の百歳体操、地域の中でいろいろ主体的に取り組まれている活動だとは思いますが、なかなか地域によってあんまり実施場所が少ないよっていうようなところもありますので、区のほうとしても、その辺導いていただければということでのご意見とか説明もありました。

あと、ひがよどなごみ勉強会について、来年度小学校5年生から拡充ということになってるようなんですけど、低学年、もうちょっと下の学年さんから始められないかなっていうようなご意見もあったんですけど、実施の時間帯がね、ちょっと遅い時間とかいろいろ諸事情もありましてということで、とりあえず5年生からってことになってるっていうことで説明もいただいています。

あとは健診のところとか、実際病気になってからとかね、弱ってからじゃなくてしっかり予防も楽しくできたらなという前向きなご意見もいただいています。

Bグループは以上の報告になります。

続きまして、ウェブで参加されてる方からのご意見をお伺いしたいなと思ってます。時間の関係もありますのでご意見、要点まとめていただけてってことでご発表いただければと思いますが、いかがでございましょうか。ご意見あれば手挙げていただければと思います。

大丈夫そうですね。はい。ご意見ないようですので次に参りたいと思います。

皆様ありがとうございました。

それでは発表及び委員からの意見等につきましては区役所から対応方針等の説明をお願いしたいと思います。

委員の皆様は席のほうに各自お戻りいただければと思いますのでよろしくお願ひします。一旦お席のほうに皆さんお戻りください。

○大谷課長 皆さん本当に今日はありがとうございました。

本当に貴重なご意見いただきまして、お褒めの言葉であったり励ましの言葉であったり、ま

た実際に表現がわかりにくいところがあるといった厳しいご意見もちょうだいいたしました。いただきましたご意見につきまして反映できる部分につきましては精一杯反映のほう考えていきたいと思えます。

また今回いただきましたご意見の中で特に印象的だったのは、やはり情報発信についていろんなところでご意見をいただいていたところで、やはりいろんな取り組みをしてもそれが伝わらなければ実際の効果に繋がっていかないという部分もありますので、そういったところを意識しながら、特にご意見の中でいろんな手法を使っていくべきではないかというような、ホームページだけじゃなくって、市民の方との協働の取り組みであったりとかそういった手法も大事じゃないかというようなご意見をいただいておりますので、情報発信につきましては特に意識して今後参考にさせていただければなと思っております。

その中で、ひとうA I ベビーに関わりまして、児童虐待のところ、前面に出てしまうとなかなか参加してもらえないんでないかというようなご意見も、紹介された中にはなかったですけども、そういったご意見をいただいております。児童虐待に繋がるというのは、結局泣き声に対して事前にいろいろこう知っていただくことで、実際に目の前で赤ちゃんが泣かれたときにイラっとしてしまったり、そういったことを少しでも減らしていくことで、虐待の場面を減らしていこうということなんですけれども、当然事業で呼びかけていく際には、児童虐待の取り組みですということを出して呼びかけていくということではなくて、本当に楽しい取り組みですよというようなところを、役に立つ取り組みですよといった積極的な面を前面に押し出しながら、少しでも多くの方に参加していただけるように創意工夫を凝らしてまいりたいと考えておりますので、他の事業につきましても、いろんな知恵を絞りながら、多くの方々に知っていただいて、参加していただけるように進めていきたいと思えます。

それともう一つ社会総がかりというようなキーワードがございましたけれども、やはり地域の方であったり企業の方であったり、そういった多くの幅広い方々に対して、今後また取り組みのほう進めていきたいと思っておりますので、今後ともまたいろいろご意見ちょうだいしたいと思っております。

今日は本当にありがとうございました。

○原課長 皆様ありがとうございました。引き続きまして原の方からお話させていただきます。

たくさんの方に本当に熱い貴重な意見をいただいたところでございます。

特にご意見が多かったのかなっていうのが3点ありまして、まず支援に繋がりにくい方への支援がすごく大事なんじゃないかというご意見がございました。支援を拒否されたりとか、必要な方にちゃんと支援が届いてないっていうことを皆さん非常に危惧されてるっていうことで感じました。今までコロナ禍ということで、なかなか直接的に関わる機会も非常に少なくなったことがあるんですけど、コロナとの付き合い方も一定皆さん身につけて、また5類に下が

るといふこともありますし、これからまたそういう支援を拒否される方、届きにくい方に対する支援っていうのを積極的にやっていきたいと思っております。

あとですね、地域別保健福祉計画に対してもたくさんのご意見をいただきました。なかなかいろんな思いを持って人がいるんだけどそれが地域の中で反映されないであったりとか、あと、区政会議で発言した意見が政策の方にうまく反映されてるんだらうかっていう疑問であったりとか、そういったお声をいただきました。やはりその地域力の向上っていうことをすごく大事に考えておられることは皆さん一致しておられるなということで、地域力の向上に寄与する地域別福祉保健計画の策定の推進ということで、引き続きやっていきたいと思っております。

あと地域福祉コーディネーターのほうもたくさんご意見をいただいております。全地域に配置が完了しておりますので、地域の中に身近な相談の窓口として、立ち寄る場所でもあり相談に行く場所ということでありますので、まだまだ認知が低い方もいらっしゃるんじゃないかというふうなご意見もありましたので、広報等もしながら、地域福祉コーディネーターの充実に努めて参りたいと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

○東田議長 はい、ありがとうございました。

本日の内容を3月13日の本会議の方で、私の方から報告させていただきます。

続きまして議題（3）その他としまして、区役所からお知らせがございます。

○福田課長代理 保健福祉課の地域福祉相談担当課長代理の福田と申します。

私からはですね、本日配布資料の黄色いチラシのほうをご覧くださいませでしょうか。

東淀川区ではですね、生活困窮者を支えております支援者間でですね、顔の見える関係やスキルアップのほうを目的としまして、年に2回程度ですね、生活困窮者サポートネット連絡会、通称困サポのほうを実施しております。今回の困サポなんですが、令和5年3月20日の月曜日にですね、生活困窮者を支える地域づくりということをテーマに、関東でご活躍されてます湯浅誠様をですね、講師としてお迎えしましてですね、子供食堂から広がる支援の輪っていうことをテーマにご講演をいただく予定としております。湯浅先生につきましてはですね、生活困窮者自立支援法の立ち上げ当時からですね、制度のほうに関わっておられまして、今現在は関東の方を中心となるんですけども、子供食堂の支援のほうを主にされておるといふことで、子供食堂の話であるとかですね、子供食堂を実施しながら生活困窮者が支えるような支援の輪っていうふうなことの講演の方をいただく予定としております。平日の昼間、3月20日月曜日の3時からということで、なかなかお出ましにくい時間帯ではありますがですね、ぜひですね、皆様方にも、講演の方ですね、お聞きいただければと思ひまして、本日ご紹介させていただきました。よろしくお願ひいたします。

○東田議長 はい、ありがとうございました。

先ほど困サポなかなか月曜日の平日なんですけども、Webのほうでも見れる、多分おそらく後日配信となつてたかなと思いますので、ご参考までよろしく願いいたします。

それでは議員の皆様よりご助言等ございましたら、お願いできますでしょうか。

○橋本議員 皆さんお疲れ様です。市会議員の橋本まさとです。今日も遅い時間にもかかわらず皆さんの積極的な議論、ご一緒させていただきました。

1年前に私、選挙、1年半ぐらい前から通らせてもらって、ずっと参加させていただいてる中で、1年前、ちょうどですね思い出しながらちょっと今日聞いてたんですけども。やはり出てくる用語であつたりとかがやっぱりわかりにくかつたり、用語リストあつたらなあと言つてたなあっていうのがこうやって用語リストにお手元なつてきたりですとか、あとはオンラインの人も参加できるような環境ができたらなあという意見とかが、こうして少し前からオンラインの環境ができたりですとか、やっぱりこういったディスカッション、意見を出し合う中で、少しずつしっかりと成果に繋がってるし、それにつなげられてる皆さんであつたり、区役所の皆さんの活動というものを改めて実感させていただきました。

1点だけすいません、これなかなか難しいかもしれないですけども、オンラインで参加されてる方も、何ていうんですかね、ワークショップに分かれても、間の参加の仕方であつたりとかがなかなかどうやったらいいのかなと。2つに分かれてつていうところ。何か置き去りになってしまうという意識はどなたにもないと理解するんですけど、なかなかやっぱりここが事実上難しいのかな、どうにかできないかなっていうのをちょっと感じながら傍聴させていただきました。やっぱりこれが成立するための定数というところでも、今回オンラインの方含めて、ぎりぎりつていうと変ですけども、というところもありますのでやっぱりオンライン参加いただいてる方たちもどううまく巻き込んでいくかっていうところを工夫なんかもちょっと考えていただけたらなあというのが思いでございました。

今日はどうもありがとうございました。

○石川議員 はい、お疲れ様でございました。自民党市会議員の石川博紀でございます。

本日も皆様の忌憚のないご意見、また各地域の課題等をたくさん聞かせていただきました。大変勉強になりました。

課題認識にもあります、すべてのこどもたちが安全安心な環境で育ちというような言葉がございますけれども、区役所ではなく、大阪市教育委員会の範疇のことではあるんですが、この間私が取り組んで参りました、菅原小学校の体育館の屋根の全面改修が2月の15日に無事終わりました、7年にわたる雨漏りが止まり、健康で文化的な最低、最低限度の教育を取り戻すこととなりました。

また、地域の皆様方といろいろ課題等ございましたら、たくさんお声聞かせていただけたらと思います。本日もありがとうございました。

○東田議長 ありがとうございます。笹川委員はよろしいでしょうかね。お願いします。

○笹川議員 本日もいろいろ、特にご多用のなか皆さんご議論いただきまして、誠にありがとうございました。ぜひ、今日の意見も区役所の皆さんに反映していただきたいと思っておりますよろしくをお願いします。

僕からはちょっと2点、今日は意見させていただきたいと思います。

1点目ですが、先ほど職員の方からご発言ありましたように、AIモデルベビーに関するところですが、運営方針ですね、ここに書かれてる文っていうのは外に出る公文書だと思っています。その中で、タイトルはICTを活用した子育て支援なんですけども、けど最後の締めが児童虐待防止を図るっていうところ、やっぱり違和感あります。意図や思い、出役所の皆さんあるんだと思うんですけども、児童虐待、絶対防止しなくちゃいけないと思っておりますが、果たしてこの講座に来る人っていうのはそもそも児童虐待をする対象の世帯なのかなというふうにも感じる中で、これを締めの部分にしてしまうとちょっと違うんじゃないかなと思っております。泣き声っていうところは、慣れる方がいいと思いますが、実際はそこじゃなくて泣き声、泣き止まなくて鬱になってしまったりとか、そういったところに虐待の危険性があるわけで、慣れたからといって児童虐待防止ができるような、そんな簡単なものじゃないっていうふうに僕は思っていますので、やはりここ、もし改善できるのであれば、例えばですけど、文章ですが、とりわけストレスを感じやすいところ辺にですね、児童虐待にも繋がりやすく、とりわけストレスを感じやすい子どもが泣くことに関する、ということにして、最後の部分は、参加型講座を実施し子育てを応援していくとか、支援をしていくと、こういうふうにまとめていく方がより区民の皆様にはわかりやすく、プラスの思考で考えていただけるんじゃないかなと思いますので、ひとつ、これは意見として提案させていただきます。

2点目は、橋本市会議員がお話されたことを僕もお伝えしようと思ってました。ワークショップですね、やはりこのオンラインで出ている委員の皆さんがいるということで、僕はもういいんですけども、オンラインで皆さんやはり参加できる形が必要だと思います。1時間ぼーっとすることは非常にもったいないと思います。ノートパソコンが2台あれば音声というのは拾えますので、そんな形で別のところで作るでもいいのですが、何かそこは改善していただきたいなと思います。

前回から比べても音声は本当に良くなりました。もうこれは役所の皆さんのご尽力とご努力だと思っていますので、ぜひ、さらにもう一步進めていただければと思いますので、お願いします。

区政会議の皆さんにはいつも本当にありがとうございます。どうもありがとうございました。

○東田議長 はい。議員の皆様ありがとうございました。

本日の議事は以上になります。皆様本当に遅くまでありがとうございます。ここからは進行

を事務局にお返しいたします。

○上井係長 失礼します。ここで1点、子育て担当からご案内いたします。

○大谷課長 すいません、ちょっと今お手元に青少年育成区民大会のチラシを置かせていただきました。こちら3月5日の日曜日、朝の10時からこちら区民ホールで開催させていただきますイベントでして、第1部では、青少年の健全育成に係る区内各団体の活動紹介ということで、他の活動団体がどんな活動するのか知りたいという声を受けて、第1部に作っております。第2部につきましては、アテネオリンピックで水泳バタフライで銅メダルをとられた中西悠子さんにお越しいたきまして、実際に親としてのPTAの会長をされたりですとか、枚方市で教育委員もされたりしていらっしゃいます。また当日メダルも持って来ていただけるというふうに聞いておりますので、ぜひ皆さんお声がけのうえご参加いただくと大変ありがたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

○上井係長 ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。長時間お疲れ様でした。

本日いただいたご意見を踏まえまして、令和5年度東淀川区運営方針を決定して参ります。

3月13日には第2回区政会議本会の開催を予定していますので、ご出席いただきますよう、よろしくお願ひします。

本日は、オンライン会議も併用しての開催ということで、事務局が不慣れなこともあり、ご迷惑おかけしたと思いますが、ご協力いただきありがとうございます。

これをもちまして、令和4年度東淀川区区政会議第2回教育健康福祉部会を閉会いたします。